



日銀旭川事務所開設80周年

理や貯蓄推進運動などの業務を行っていました。(注)封鎖預金とは、太平洋戦争直後の猛烈なインフレーション発生を踏まえた政府の命令によって、金融機関から引き出しを制限・禁止された預金のことです。生活費や事業費などの定められた用途の場合に限り、この預金を引き出す(解除すること)が認められる手続となっていました。

①お札の流通に関する事務、②景気・経済の調査に関する事務、③金融知識の普及に関する事務などを行っています。

①寄託券制度という仕組みのもとで、北洋銀行の協力を得ながら、当地の金融機関との間で、お札の受け渡しを日々行っています。新札を発行したり、再流通に適さないお札を回収するなどの作業を通じて、道北地域において、安心・安全でクリーンなお札の流通環境を整えています。

②地域の企業経営者や業界団体、自治体の方々と面談・意見交換や地域の経済統計データを踏まえて地域の経済活動を調査・分析しています。そして、道北地域の「金融経済概況」や「日銀短観」などの資料を定期的に作成し、記者会見・公表しています。また、地域経済の発展の一助となるよう、日本銀行本支店が収集分析した全国や海外の情報について、講演会等を通じて地元へ還元しています。

旭川事務所開設は前述の通り昭和21年ですが、実は明治時代に9年ほど、旭川には日本銀行の派出所が設置されていました。旭川・永山・神居の3つの村が明治23年に置かれて間もない、明治30年に日本銀行北海道支店(現在の函館支店)の所轄のもとに「旭川派出所」が開設されました。そして、日露戦争が終結した翌年の明治39年に旭川派出所は、旧北海道銀行(昭和9年北海道拓殖銀行に合併)に機能を引き継ぎ、閉鎖されます。

旭川市が昭和45年に発行した「旭川80年の歩み」には、「旭川の商工業が草創期のころにはまだ金融機関もなかったのでは、はじめは質屋や貸金業が利用され、ついで農産物等の販売に特約関係を結んだ商人が金融の役割をに

8月で開設80周年を迎える日本銀行旭川事務所は、これまで地域社会とともに歩んできた歴史をしっかりと受け継ぎ、これからも時代のニーズに応じた役割を担いながら、旭川・道北の地域社会とともに歩み続けます。

日本銀行旭川事務所は、今年の8月で開設80周年を迎えます。今回のコラムでは、当事務所のこれまでの歩みを紹介したいと思います。

当事務所は、戦後間もない昭和21年8月に、当時2条通8丁目にあった北海道拓殖銀行旭川支店内に開設されました。開設当時は、太平洋戦争後の貧困と混乱の中で、銀行券(お札)の受払・封鎖預金解除申請書(注)の処

理や貯蓄推進運動などの業務を行っていました。

旭川事務所開設は前述の通り昭和21年ですが、実は明治時代に9年ほど、旭川には日本銀行の派出所が設置されていました。旭川・永山・神居の3つの村が明治23年に置かれて間もない、明治30年に日本銀行北海道支店(現在の函館支店)の所轄のもとに「旭川派出所」が開設されました。そして、日露戦争が終結した翌年の明治39年に旭川派出所は、旧北海道銀行(昭和9年北海道拓殖銀行に合併)に機能を引き継ぎ、閉鎖されます。

旭川市が昭和45年に発行した「旭川80年の歩み」には、「旭川の商工業が草創期のころにはまだ金融機関もなかったのでは、はじめは質屋や貸金業が利用され、ついで農産物等の販売に特約関係を結んだ商人が金融の役割をに

旭川事務所開設は前述の通り昭和21年ですが、実は明治時代に9年ほど、旭川には日本銀行の派出所が設置されていました。旭川・永山・神居の3つの村が明治23年に置かれて間もない、明治30年に日本銀行北海道支店(現在の函館支店)の所轄のもとに「旭川派出所」が開設されました。そして、日露戦争が終結した翌年の明治39年に旭川派出所は、旧北海道銀行(昭和9年北海道拓殖銀行に合併)に機能を引き継ぎ、閉鎖されます。

8月で開設80周年を迎える日本銀行旭川事務所は、これまで地域社会とともに歩んできた歴史をしっかりと受け継ぎ、これからも時代のニーズに応じた役割を担いながら、旭川・道北の地域社会とともに歩み続けます。



【佐藤弘康(さとうひろやす)】 1970年、宮城県出身。東北大学法学部卒。システム情報局企画役、決済機構局企画役、業務局企画役、発券局戸田発券課長を経て、2025年、旭川事務所長に就任。

理や貯蓄推進運動などの業務を行っていました。

旭川事務所開設は前述の通り昭和21年ですが、実は明治時代に9年ほど、旭川には日本銀行の派出所が設置されていました。旭川・永山・神居の3つの村が明治23年に置かれて間もない、明治30年に日本銀行北海道支店(現在の函館支店)の所轄のもとに「旭川派出所」が開設されました。そして、日露戦争が終結した翌年の明治39年に旭川派出所は、旧北海道銀行(昭和9年北海道拓殖銀行に合併)に機能を引き継ぎ、閉鎖されます。

旭川市が昭和45年に発行した「旭川80年の歩み」には、「旭川の商工業が草創期のころにはまだ金融機関もなかったのでは、はじめは質屋や貸金業が利用され、ついで農産物等の販売に特約関係を結んだ商人が金融の役割をに

旭川事務所開設は前述の通り昭和21年ですが、実は明治時代に9年ほど、旭川には日本銀行の派出所が設置されていました。旭川・永山・神居の3つの村が明治23年に置かれて間もない、明治30年に日本銀行北海道支店(現在の函館支店)の所轄のもとに「旭川派出所」が開設されました。そして、日露戦争が終結した翌年の明治39年に旭川派出所は、旧北海道銀行(昭和9年北海道拓殖銀行に合併)に機能を引き継ぎ、閉鎖されます。

旭川市が昭和45年に発行した「旭川80年の歩み」には、「旭川の商工業が草創期のころにはまだ金融機関もなかったのでは、はじめは質屋や貸金業が利用され、ついで農産物等の販売に特約関係を結んだ商人が金融の役割をに

旭川事務所開設は前述の通り昭和21年ですが、実は明治時代に9年ほど、旭川には日本銀行の派出所が設置されていました。旭川・永山・神居の3つの村が明治23年に置かれて間もない、明治30年に日本銀行北海道支店(現在の函館支店)の所轄のもとに「旭川派出所」が開設されました。そして、日露戦争が終結した翌年の明治39年に旭川派出所は、旧北海道銀行(昭和9年北海道拓殖銀行に合併)に機能を引き継ぎ、閉鎖されます。

8月で開設80周年を迎える日本銀行旭川事務所は、これまで地域社会とともに歩んできた歴史をしっかりと受け継ぎ、これからも時代のニーズに応じた役割を担いながら、旭川・道北の地域社会とともに歩み続けます。